

SIFA ニュース



NO. 124

2025 年度 春号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

鈴鹿国際交流フェスタ 2025

わいわい春まつり

今年も、皆様が楽しみにされているわいわい春まつりの季節が近づいてきました。

今回は、SIFA の事務所のあるハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿（鈴鹿市文化会館）を全館使用して行います。

ステージでの様々な国の歌や踊りの発表のほか、アフリカ布を使ったくみボタンづくり、民族衣装や着物・浴衣などの試着、カポエイラ体験、英語で遊ぼうコーナーなど、大人も子どもも楽しめる企画が盛りだくさんです。小さなお子様でも楽しめるカプラや、松ぼっくり釣り、折り紙などのコーナーもありますよ♪

さらに、いくつかのコーナーでは、参加賞もご用意しています。

また、屋台やキッチンカーで、9 カ国 23ブースのお店が出店しますので、様々な料理を食べ比べ、世界の味もぜひご堪能ください。

ご家族やご友人をお誘いあわせの上、ご来場いただき、楽しいひと時をお過ごしください。

と き：5月18日（日） 10：00～15：30

と ころ：ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿、西条中央公園

内 容

[お知らせ]

○わいわい春まつり

○ベルフォンテン青少年相互交流事業

○日本語ボランティア養成講座

[報告]

○日本のお弁当づくり講座

○韓紙工芸講座

○R7 年度の事業計画

【ステージスケジュール】(予定)

| 演目 | グループ名 | 時間 |
|--------------------|----------------------------|-----------------|
| オープニング | | 10：00-10：20 |
| よさこい(太鼓) | 勝山組&凜グループ | 10：20-10：45 |
| 中国舞踊 | Lilypan 舞踊芸術団 | 10：50-11：15 |
| アフリカンソング & フォルクローレ | Monicah' s Bounce Watay | 11：30- 12：15 |
| カポエイラ | カマラジャパン | 12：30-12：45 |
| ジャンプダンス | Monique Jump | 12：50-13：05 |
| ネパールダンス | クールガールズ | 13：10-13：30 |
| モンゴル演舞 | チャハルズ | 13：35-13：55 |
| 韓国舞踊 | シアリ | 14：00-14：20 |
| フィリピンバンド | The Sun | 14：30-14：50 |
| サンバ | 鈴ともサンバ | 15：00-15：20 |
| 閉会のあいさつ | | 15：20-15：25 |



鈴鹿市ベルフォンテン市 青少年相互交流事業 ホストファミリー募集！！

この夏、アメリカの中高生をご家庭に迎えてみませんか？

友好都市ベルフォンテンからやってくる生徒たちが、日本の文化や生活を体験できるよう、一緒に過ごしてくれるホストファミリーを募集しています。自宅に居ながらにして国際交流を楽しみましょう♪



※写真は、一昨年の受け入れ時の様子です

受入れ期間：7月30日(水) 夕方～8月4日(月) 午前中まで
募集世帯：11家族（うち4家族は引率者の受入れとなります。）
訪問団内訳：男子中高生2名、女子中高生5名、
引率者(男性)1名、(女性)3名
ホストファミリー説明会：7月5日(土) 14:00～15:45 (予定)
場所は、文化会館 研修室を予定
申し込み：6月23日(月)までに、EmailまたはFaxにて代表者
氏名(事務連絡ができる方)・住所・電話番号・家族構成(性別・
年齢・学年を含む)を記入の上 SIFA まで。
*生徒の受け入れは、同年齢のお子さんがあるご家庭を優先します。
引率者の受け入れは、お子さんの年齢に関係なくご応募いただけます。

訪問団スケジュール(予定)
7/30 鈴鹿到着⇒ホストファミリー
7/31 観光及び日本文化体験等
8/1 市長表敬訪問
関係施設見学ツアー
(31日・1日は、ホストキッズも同行)
8/2 終日ホームステイ
8/3 フェアウェルパーティ
(ホストファミリーのみなさまに昼食を
ご用意いたします。)
8/4 鈴鹿出立⇒帰国の途へ

日本語ボランティア養成講座

鈴鹿に住む外国人は少しずつ増えており、地域や職場、学校など様々なところでみかけるようになりました。しかし、在住外国人との交流の機会はそれほど多くありません。そこで、日本語支援活動を通して在住外国人とつながりを作ってみませんか。

今年は、生活シーンで使う日本語をどうやって教えるかを学びます。

と き：5月31日、6月7、21、28日(土曜日)
13:10-16:20

(6月11日、14日は、日本語教室を見学予定)

と ころ：ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿(鈴鹿市文化会館)第3研修室

対 象：出来る限り全講座に出席できる方

講 師：舟橋 宏代さん(鈴鹿大学教授)、^{さんじき} 棧敷 まゆみさん(鈴鹿大学准教授)、
^{はなむら} 花村 博司さん、^{おとなり} 音成 佐矢子さん(鈴鹿大学助教)

受講料：一般 2,500円、 賛助会員 無料

募集人数：20名(先着順)

応募方法：5月23日(金)までに、郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入の上、FAX、E-mailで SIFA まで



↑ 昨年の講座の様子

日本のお弁当づくり講座

3月29日（土）、鈴鹿市文化会館の調理室にて外国人向けの日本料理講座を開催しました。参加者はブラジル、ペルー、インドネシア出身の7名の方々でした。

日本の文化的なお弁当を紹介するため、簡単な3色弁当を、家族も食べられるように、二人分作りました。栄養たっぷりのけんちん汁も管理栄養士の岡田忍さんに教わりました。

先生は、やさしい日本語で各工程の意味などを説明して下さいました、参加者は、鶏肉をそぼろ状にする際、菜箸を四本使用するなど、母国にはない手法に興味津々でした。

調理のコツを教わった後、和食は栄養バランスに優れていることを、料理のイラストや食品サンプルで学びました。タンパク質、糖質、ビタミンの量は一人ひとりの生活によって違うこと。バランスの良い食事をとることは大事だと教わりました。参加者の一人は、先生のお話に刺激を受け、自分の食生活を早急に見直したいと言われました。



三食弁当、けんちん汁(身体の栄養)、デザート(心の栄養)



料理イラスト
食品サンプル



韓紙工芸講座

2月15日（土）、韓国文化理解講座「韓国文化の旅」第2弾として、鈴鹿市文化会館の陶芸室にて韓紙工芸講座を開催しました。定員を超える22名の方々にご参加いただきました。講師は、第1弾の時と同じく在日コリアン3世の申綿愛さん（しんきよね）さんをお願いしました。

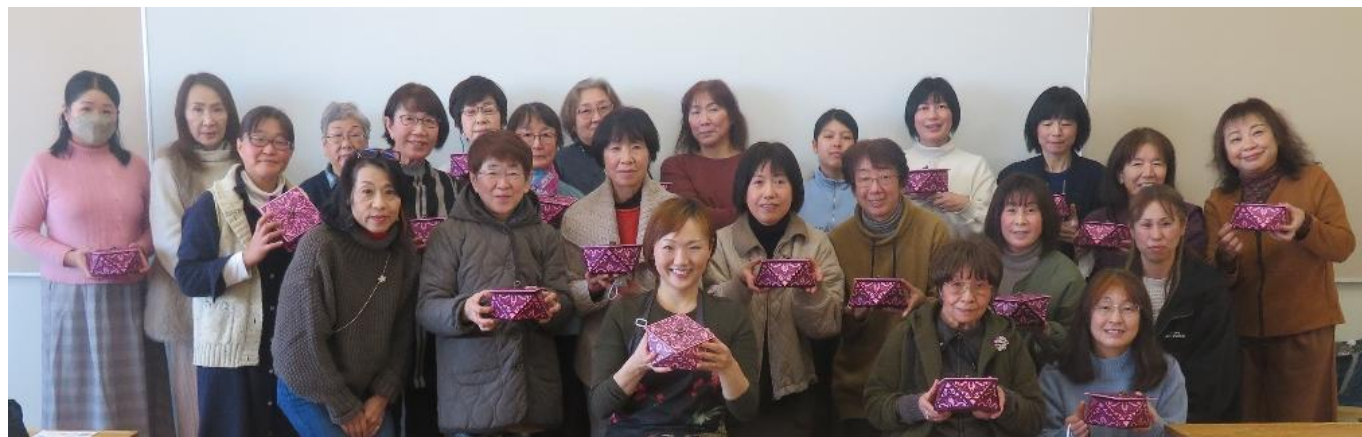
韓紙工芸とは、日本の和紙に似た「韓紙」を使い、生活用品や小物、家具などを作る伝統工芸です。韓紙は和紙と同じく楮の木の皮を原料とし、古くから障子や壁紙などに用いられてきました。その耐久性と保存性の高さは「千年経っても変わらない」と言われるほどです。

今回の講座では、伊勢型紙のように模様を彫る技法を用いた、型紙を使った作品づくりに挑戦しました。

参加者のみなさんは熱心に取り組み、そのあまりの集中ぶりに講師の綿愛さんが「皆さん、息をしてくださいね～」と声をかける場面も。教室には和やかな笑いが広がりました。

完成した作品はどれも美しく、「何を入れようかしら？」と嬉しそうに話される姿が印象的でした。

韓国の伝統文化に触れながらの楽しいワークショップとなりました♪



★令和7年度 SIFAの事業計画★

① 地域レベルでの国際交流の促進・国際理解事業

・鈴鹿市ベルフォンテン市 青少年相互交流事業

鈴鹿市の友好都市である米国オハイオ州ベルフォンテン市から中高生をお迎えし、生徒同士の交流や、ホームステイによる市民交流を行い、両市の友好親善を図ります。

・国際理解講座

異文化理解が深められるセミナーや料理講座を開催します。また、他団体とも連携した新たな講座を検討します。

② 多文化共生推進事業

・共生社会推進イベント(鈴鹿国際交流フェスタ 2025 わいわい春まつり)

本協会が事務所を置くハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿にて開催します(チラシ参照)

・協会ホームページ

協会が実施する事業の他、災害時の避難所や日本語教室等の情報を掲載します。また Instagram や Facebook ページでは、鈴鹿市及び近隣市町の国際交流に関する色々な情報を掲載します。

・SIFA ニュース

賛助会員やボランティア会員等に、協会や各会員が行う各種事業の活動状況等を広報します。

・日本語講座

ア) 市内在住外国人のニーズに応え、入門や初級の講座を開催します。

イ) 市内で活動する3つの地域日本語教室に教室運営を委託します。

ウ) 企業の外国人労働者向けにオンラインで入門～初級の日本語講座を開催します。

・相談窓口

日本語で送られてくる通知文書等の内容が分からず放置すること等で生ずる相談案件に、事務所窓口や電話等で受けていきます。また、ブラジルの臨床心理士によるポルトガル語での心の相談会を実施します。

・長期休み中の外国につながる子どもたちの学習支援の場づくり

夏休みや冬休みの課題を自宅で見られない家庭を対象に、宿題支援教室を開催します。市や教育委員会等と連携し、ボランティア支援者の協力をいただきながら実施します。

③ 人材の育成及び市民活動等の支援事業

・日本語ボランティアの育成

日本語学習をする外国人住民の学習環境の充実を図るため、ボランティアを育成します。今年度は、生活シーン別で使う日本語の教え方を重点的に学び、受講された方が活動につながるように支援します。

・多言語災害ボランティアの育成

県や市、社協の他、他機関とも連携を深め、災害時に備えます。また、市の防災訓練や社会福祉協議会の災害ボランティアセンター設置運営訓練に参加します。

・他団体等との連携

ア) JICA グローカルプログラム研修生や、県内の高校生のインターンシップを受け入れます。

イ) 多文化共生の活動を行っている「鈴とも」や「子ども支援ネットワーク会議」、「鈴鹿市災害ボランティアセンター連絡会」等への参加するほか、ボランティアと連携し「日本語サロンおいん」を運営します。

★R7年度の事業計画・予算の詳細については、右のQRコードからご覧ください → → →



公益財団法人鈴鹿国際交流協会(SIFA)

〒513-0802 鈴鹿市飯野寺家町 810 番地 ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿 (鈴鹿市文化会館) 2階
TEL:059-383-0724 FAX:059-383-0639 ☎ sifa@mecha.ne.jp URL:http://www.sifa.suzuka.mie.jp